

単元目標 (育成したい資質・能力)	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽系の天体の特徴を見だし、恒星の特徴が捉えられるようになる。 ・太陽系は銀河系に属すること、銀河系の外には別の銀河が多数存在することなど、その広がりについて理解できる。 ・惑星の特徴を知り、地球型惑星と木星型惑星の特徴が理解できる。 	二つの側面	A…主に文章や図、グラフから読み解き理解する力 B…主に他者とのやりとりから読み解き理解する力	三つのプロセス	①発見・蓄積 必要な情報を確かに取り出す ②分析・整理 情報を比較し、関連付けて整理する ③理解・再構築 自分なりに解決し、知識を再構築する
----------------------	--	-------	--	---------	---

1 4 単元の流れ ○主な学習活動 □指導上の留意点	3 「読み解く力」を育成するための手立て	2 「読み解く力」の育成に重点を置いた目指す児童生徒の姿	
		A：文章・グラフ・図から	B：やりとりから
① 地球以外の天体での生物の存在の探査や観測などを聞き、地球がどのような特徴をもった天体なのか、調べて説明する。 □共通点・相違点の見方や比較の考え方について、特徴を科学的に捉えられるように指導する。	A ① 教科書・資料集から地球や月について情報を読み取る。 A ② 共通点・相違点の視点で月と地球との比較や情報整理を行う。	①文章や資料を理解・評価しながら読む ・教科書や資料集などの資料を活用し、天体としての地球の特徴を整理できている。	①相手の言葉、しぐさ、表情をもとに相手の思いを感じ取る
② 惑星には、どのような特徴があるのか、資料を用いて分類する。【本時】 □複数の資料を用いて分類することや、複数の観点から分類できるように指導する。 □生徒一人ひとりの考えがまとまるように、各班のポイントを振り返るなど、少し情報の整理を行う。	A ①②資料から太陽系の惑星について情報を読み取り、惑星の特徴を比較・分類して情報を整理する。 B ② グループで情報を整理し、よりよい分類について考える。	・資料から、それぞれの惑星を比較する視点をもち、情報を取り出すことができている。	②今までの経験に照らしながら、相手の意図や思いを正確に理解する ・分類した理由について、グループで思考ツールなどを用いて考えをまとめている。
③ 惑星以外の太陽系の天体には、どのような特徴があるのか理解する。 □小惑星・彗星・太陽系外縁天体など、それぞれの違いについて目が向けられるように指導する。	A ①②惑星以外の天体について情報を読み取り、特徴を整理してまとめる。	・惑星にはどのような特徴があるのか、資料を用いて分類している。 ・太陽表面の観察に積極的に取り組み、分かった内容を整理し、推察している。	・太陽の特徴や自転の様子を黒点の観測結果から推察している。
④ 太陽は、どのような特徴がある天体なのか調べる。 □太陽の観察例を実物で示し、天気が悪い場合も実際に観察しているイメージが描けるように指導する。	A ② 太陽表面の観察結果から、分かった情報を整理する。	③解釈した内容を経験や知識に結び付けて理解し、新たな情報と関連しながら創造していく	③やりとりを通して、相手の意図や思いを取り入れたり、相違点を明らかにしたりしながら自分の考えを深め創造していく
⑤ 太陽の表面の様子や特徴について、調査結果や資料を元に推察する。 □太陽の表面の様子や特徴について、どのようなことが分かるのか、結果の読み取り方や考え方を支援する。	B ②③グループで太陽の特徴について推察し、その結果と自分の考えとを比較し、さらに自分の考えを創造する。	・太陽系の外の宇宙について関心をもち、どのような天体があるかを自ら調べようとしている。	・黒点の移動から太陽が自転していることについて、班や自分の考えを元に推測できている。
⑥ 太陽系の外の恒星はどのような天体で、太陽系の外にはどのような世界が広がっているのか考える。 □これまで学習してきた内容がつなげて考えられるよう、多くの情報を整理し、振り返りができるように指導する。	A ③・B ③ 振り返りを記入し、これまでの多くの情報(自分・同じ班の人・他の班・資料…)から太陽系の構造や宇宙について、自分の考えを再構築する。	・太陽系、銀河系、銀河の構造について、解釈した内容を基に考えを深めている。	